

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮北中学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	①基礎的・基本的な知識・技能の習得(知識・技能) ②生徒が自分のこととして捉えて思考したり、相手に分かりやすく表現したりする力の向上(思考・判断・表現)
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	①「スタディサプリ」等を活用する。朝に学習時間をとり、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、生徒自身の課題となる部分に気づかせ、補充学習への取り組みを促す。【通年・週に2回実施】 ②生徒が振り返りを記入したり、自身の考えたことやその過程を話したり、文章にしたりする学習活動を取り入れていく。また、表現活動や共有の場面でICTを活用し、「学習者が主体的に学ぶ態度」を育成することで、相手に分かりやすく伝えることを意識した表現力の伸長をはかる。【通年・単元の終わりごとや日々の授業】

ざらざら(構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月)	学力向上策の実施
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	調査結果分析(7月)	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査結果を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月) <小1~中3> (11~12月)	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③児童生徒の実態把握 ④職員研修等
↓		
学力向上策の 見直し	中間評価(9月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所